

歯は
いたる

痛



歯が痛い展

歯科医学の誕生と横浜

展



★「朝とねるまへ」…大野齋英氏所蔵

平成23年2月2日(水)▶4月24日(日)

●開館時間●9時30分～17時[入館は16時30分まで]●休館日●月曜日[3月21日は開館]および3月22日●入館料●大人200円、小中学生100円●主催●横浜開港資料館●協力●(社)神奈川県歯科医師会「歯の博物館」/大野齋英/羽坂勇司●共催●(社)神奈川県歯科医師会/(社)横浜市歯科医師会/横浜市教育委員会●後援●神奈川県教育委員会/朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/毎日新聞社横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局

展示記念講演会

平成23年3月13日(日)/13時30分より
[定員]80名(応募多数の場合抽選)/[受講料]1,000円

「江戸・明治期の歯科事情」●大野齋英(「歯の博物館」館長)
「横浜居留地と西洋歯科医学」●羽坂勇司(「歯の博物館」学術特別委員)

往復はがきに住所・氏名・TELを明記の上、
〒231-0021 横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館講演会係まで
3月1日(火)必着



★「急な痛み」…羽坂勇司氏所蔵



★木の入れ歯…(社)神奈川県歯科医師会「歯の博物館」所蔵

横浜開港資料館
Yokohama Archives of History



みなとみらい線日本大通り駅下車
〒231-0021 横浜市中区日本大通3
TEL. 045-201-2100
[ホームページ] <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

痛の歯が痛い展

〇〇〇 歯科医学の誕生と横浜 〇〇〇

横浜は近代歯科医学発祥の地です。日本では江戸時代まで、歯痛の処置は、神仏への祈願やまじない、生薬の利用、拔牙という方法で対処していました。しかし開港後、横浜に来日した西洋人歯科医は、鎮痛をすたうえでむし歯を処置し、むし歯の穴に詰め物をして治療するという画期的な治療法を伝えます。本展示では、横浜で活躍した西洋人歯科医と、彼らから技術を学んだ日本人歯科医の軌跡をたどり、横浜から日本中に広まった近代歯科医学発展の歴史をふりかえります。

展示構成

- 1 むし歯の歴史
- 2 歯の治療
- 3 拔牙と入れ歯
- 4 イーストレーキの来日
- 5 エリオットと小幡英之助
- 6 西洋人歯科医の弟子たち
- 7 歯科医制度の整備
- 8 歯科医師会の設立と口腔衛生普及運動
- 9 むし歯予防デーと学校歯科医



★「誂織當世島」- 豊田 大野南英氏所蔵



★「歯と歯ブラシ(ペンダントヘッド)」- 羽取勇司氏所蔵



★「クラブ歯粉」- (社)神奈川県歯科医師会「歯の博物館」所蔵



★「神原歯科医院の診察室」- 大正2(1913)年撮影 神原紀男氏所蔵



★「歯科人形」- 社団法人神奈川県歯科医師会「歯の博物館」所蔵



★「拔牙器具セット」- 羽取勇司氏所蔵



★「お歯黒をする女」- 竹久夢二画 大野南英氏所蔵

展示関連企画

展示担当者による展示解説

2月27日(日) / 3月26日(土) / 4月10日(日)
いずれも14時から30分ほど
(入館料のみで参加可、事前申込み不要)

横浜開港資料館
Yokohama Archives of History



次回展示予告

開館30周年記念 Part 1

たまくすが見た
157年 ベリー来航から
横浜開港資料館まで(仮称)

平成23年4月27日(水)~7月24日(日)(予定)